東京短大の新校舎が竣工

神楽坂上に5階建

このほど本学は、東京短期大学の校舎を神楽坂上に新築した。工事は昨年8月に着工したが、海外からの資材の遅れ等により、工期18ヶ月を経て本年1月末に竣工した。

同東京短大の竣工式は、令和7年1月29日に新宿区筑土八幡町の新校舎において、関係者約80名が参列して挙行された。

午前11時、2階の式場において開式した。筑土八幡神社の神官による神事が催され、祝詞奉上につづいて各代表が玉串を奉奠した。

神酒拝載のあと、建築主の中原泉理事長が、「私の日頃の散歩道の大久保通りに、シュールでオーソドックスで重厚な東京短大が出現した」と、設計・施工ほか各関係者に篤い謝辞を述べた。

ついで、設計監理の山下設計の藤田秀夫代表取締役社長、施工の熊谷組の櫻野泰則取締役会長が挨拶した。

竣工式は、11時45分に閉式した。12時より同階会場での竣工披露宴に移った。

まず、小林隆太郎東京短期大学学長が、「歯科技工士と歯科衛生士の学生諸君が見たら、ワクワクして勉強に励むのではないかと思う。教職員一同が心を新たにして、彼らの教育に専念したい」と喜びを述べた。

ついで、来賓を代表して高橋英登日本歯科医師会会長が、「母校の発展を拝見し、これ以上の喜びはない。ここ神楽坂上

披露宴で挨拶する小林短大学長

竣工式　中央は挨拶する中原理事長

は、歯科衛生士と歯科技工士の殿堂となるだろう」と祝詞を述べた。

ここで、藤井一維日本歯科大学学長が、竣工を祝って乾杯の発声をし、華やかな祝宴に入った。

この新校舎は、飯田橋西口より神楽坂通りを徒歩10分、同東口からは大久保通りを徒歩5分の立地にある。筑土神社の隣り、東京新宿メディカルセンターの斜向いに位置する。敷地1376㎡（約417坪）に、鉄筋コンクリート造り5階（延床面積約3700㎡・約1121坪）が建てられた。

建物は、教育施設として機能性と快適性を有し、施設は前校舎より30%ほど拡充された。各階には、歯科技工士教育・実習室、歯科衛生士教室・実習室はじめ、多目的室（講堂）、学生自習室、ラウンジ等が新装整備された。

1階ホール前には、金属焼付ポーセレンの開発で知られる国際的な歯科技工士の故桑田正博先生より寄贈された記念品を、展示・保管する『桑田正博記念館』を開館する。

3月中に早稲田通りの旧校舎から移転し、新年度の4月より新校舎において開校する。

〈東京短期大学〉
〒162-0815
東京都新宿区筑土八幡町2番3号
☎03-3266-5061

「Odontology」25年目 投稿総数 昨年846編

本学の「Odontology」は、二〇〇一年に邦文誌「歯学」から英文誌となった。編集長は、筒井健夫教授、土持眞教授、新海航一教授に引き継がれた。二〇一七年からは、年4号の発刊となった。本年で刊行25年目となり、名実ともに国際的な学術誌として高い評価をうけている。

昨年二〇二四年の総投稿数は、八四六編に達した。投稿はトルコ、ブラジル、中国、インド、エジプト、日本（国立私立）、イランが多く、スペイン、イタリア、ドイツ、アメリカからもある。

同年の採択率は18%強で、最新号の一一二巻三号には、レビュー論文3編、オリジナル論文29編が掲載された。

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼編集人　中原　泉
発行　年6回
定価　1部100円
編集室（〒951-8580）
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025（267）1500

本学のシンボルマーク

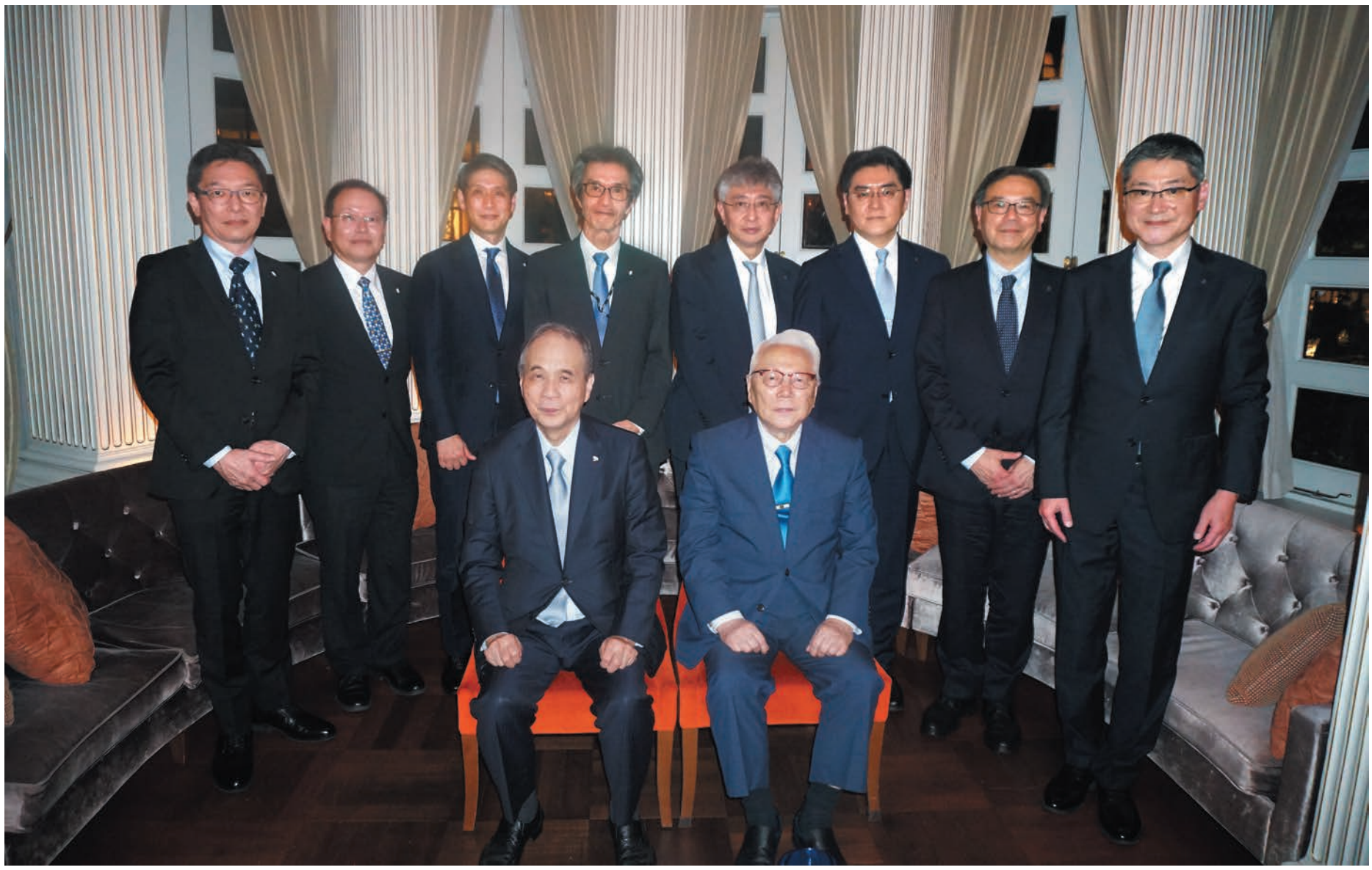
面白い！縦横多彩な半世紀

中原泉回顧余滴

中原泉［日本歯科大学 理事長］著

A4版／並製（ケース入り）／114頁
オールカラー／定価3,300円（税込）
ISBN978-4-87078-213-6

一世出版株式会社
https://www.issei-pub.co.jp



富士見・三崎会　前列左より 東京歯科大学の井出吉信理事長、日本歯科大学の中原 泉理事長、後列左より東歯大の山下秀一郎水道橋病院長、山本 仁副学長、片倉 朗副学長、一戸達也学長、日歯大の藤井一維学長、中原 貴副学長、菊池憲一郎生命歯学部長、内川喜盛附属病院長　**三崎・富士見会**

倉治講師 受賞

生命歯学部歯周病学講座の倉治竜太郎講師は、11月1日の第110回アメリカ歯周病学会2024年大会において、論文「Nisin a probiotic bacteriocin mitigates brain microbiome dysbiosis and Alzheimer's disease-like neuroinflammation triggered by periodontal disease」J Neuroinflammation. 2023;20(1):228.で、Clinical Research Awardを受賞した。

（左より2人目）

新海教授（新潟保存）最終講義

新潟生命歯学部の新海航一教授の最終記念講義は、12月19日に新潟生命歯学部講堂において開催され、多数の教職員・学生が聴講した。

演題は「半世紀にわたる保存修復学の歩みとともに―研究の必要性と意義―」。1時間の講義終了後、藤井一維学長より記念楯、中原泉理事長より花束が贈呈された。

（藤井学長と新海教授）

埴助教 受賞

生命歯学部病理学講座の埴太宥助教は、8月1日の第35回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会において、ポスター発表演題「口腔扁平上皮癌における神経周囲浸潤の制御分子同定を目指したトランスクリプトーム解析」で、優秀ポスター賞を受賞した。

宮野助教 受賞

新潟生命歯学部歯科保存学第二講座の宮野侑子助教は、11月21日に、第160回日本歯科保存学会2024年度春季学術大会において、ポスター発表演題「ベニア修復を用いた審美性の改善」で、認定医優秀症例発表賞を受賞した。

竹澤准教授 受賞

新潟生命歯学部生化学講座の竹澤晴香准教授は、12月7日の第68回日本唾液腺学会学術集会において、論文「EGFR陽性唾液腺がんに対するタンパク模倣体を用いた近赤外光免疫療法」で、学会奨励賞（基礎的研究）を受賞した。

卒業式・入学式日程

第一一四回卒業式
・新潟生命歯学部　三月五日(水)　11時
・生命歯学部　三月七日(金)　10時
令和7年度入学式
・生命歯学部　四月二日(水)　10時30分
・新潟生命歯学部　四月三日(木)　13時30分

新潟病院 ロビーコンサート開く

新潟病院のロビーコンサートは、11月20日に総合受付前待合ホールにおいて開催された。

チェロ演奏者の前田美華さん、小松みゆうさんの二人と、前田さん主宰のCELLO SCHOOL門下生による演奏を、多数の患者さんや、教職員が鑑賞した。

（病院ロビーでの演奏光景）

本紙縮刷版62冊目

会告

このたび新聞会では、「日本歯科大学新聞」の令和6年（二〇二四）版を編集発行しました。

これは本紙のユニークな企画として、昭和38年より刊行しており今号で62冊目になります。本紙を週刊誌大に縮小し、第六八八号から六九四号までを収録しています。

令和6年の日本歯科大学の活動を報道した全紙面が、そのまま縮小されて、本学の動向と発展の歴史を記録しています。

ご希望の方には、贈呈（無料）しますので、FAXで「ご氏名・卒業回数・現住所」を〇二五(二六七)一一三四へお申込みください。

日本歯科大学新聞会